## もっと、多くの市民の意見を

~ 『登別市まちづくり基本条例』に関する ~ ふれあい懇談会 ~

6月7日(火)・8日(水)の2日間、市民会館で市職員とまちづくり団体の方などが気軽に話し合う『ふれあい懇談会』が行われました。

この懇談会は、市が制定に向けて検討を進めている『登別市まちづくり基本条例』の素案について、説明や意見交換を行おうと、市内の経済団体や青年団体、婦人団体、文化団体、学校、PTAなどに呼びかけて開催したもので、合わせて52人が参加しました。

『登別市まちづくり基本条例』は、市民と行政による協働のまちづくりを推進するため、まちづくりの基本原則や市政運営の具体的な取り組み、市民・行政・議会の役割と責任を明らかにするもので、懇談会では、『財政運営のあり方』や『前文と本文との整合性』、『条例制定後の運用方法』などについて、活発な意見交換が行われました。

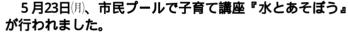
市は、今後、各地区の連合町内会との懇談会の開催を予定しており、 さらに多くの市民と意見交換を行い、今年度中の条例制定に向けて作 業を進めることにしています。





## 水遊びは楽しいな

~子育て講座『水とあそぼう』~



この講座は、市が2・3歳の子どもとその保護者を対象に、親子で遊ぶ楽しさを体験し、子育ての輪や友だちの輪を広げてもらおうと開催したもので、26組52人が参加しました。

はじめに、市民プールのトレーナーの指導で準備体操をした後、水深を10学行に調節した多目的プールに移動。子どもたちは、ボールや水に浮くおもちゃで遊んだり、ピート板を使い足をバタバタさせたりと、思い思いに水と慣れ親しみ、久しぶりの水遊びに歓声をあげていました。

なお、市民プールでの同講座は、9月にも開催を予定 しています。



## 泥の感触って気持ちいい

5月28日(土)、千歳町の『ふれあい農園』で幌別中学校区子 ども地域交流プラザ運営委員会主催の田植えが行われました。 この催しは、学校週5日制に合わせて始まったもので、今 年で14回目。幌別小学校、幌別東小学校、幌別中学校の児童、 生徒、教職員、PTAなどから約230人が参加しました。

今回は、伊達市の農家から購入した『きらら397』の苗を使用。参加者は、同運営委員会の山田純一郎会長から「貴重な苗なので大切に真っすぐに植えてください」とのあいさつに続き、植え方の説明を聞いた後、早速、はだしで田んぼに入り、作業を開始しました。

最初、「泥が気持ち悪い」などの声をあげていた参加者も、 慣れてくると次第に「冷たくて気持ちいい」と泥の感触を楽 しみながら、手足を泥だらけにして農作業に汗を流していま した。 ~ ふれあい農園・田植え~

